

主査, ほか 15 名.

1. 特殊精錬部会第2回幹事会報告

9月14日 ESRシンポジウム開催について, 各分科会から代表的研究発表を行なうこととした.

2. 委員発表

(1) ESW, 溶着金属の元素分布に及ぼすフラックス組成の影響について(第1報) (阪大・岩本)

(2) 鋼板製溶接構造大形水車ランナの製作(日立・和田)

(3) エレクトロスラグ溶接およびエレクトロスラグ肉盛とその効果的な適用例(新日鉄・大谷)

以上3件の発表があり活発に討論された.

3. その他

ESWに対する心線およびフラックスの分類と溶接金属の試験ガイドについての質問が Dr. J. ZEKE から来たので, JIWX II, J分科会主査が日本の意見をまとめて返答書を送った. この返答書の内容について中野氏

(川鉄)より説明があつた.

鉄鋼の応力腐食割れ部会

第8回部会 開催日: 1月19日. 出席者: 久松部会長
ほか 15 名.

1. 委員発表

(1) 304 ステンレス鋼の水素吸収と水素脆化におよぼすカソード・チャージ条件の影響(川鉄・増尾)

(2) Application of Resistmetry to Stress Corrosion Cracking Test. (東工大・春山)

2. Review

ステンレス鋼の孔食とすきま腐食(久松部会長)

以上の発表があり活発に討論された.

3. その他

昭和52年度から新規委員が追加されるが, その案が部会長から紹介された.

特殊精錬法文献集の有償頒布について

鉄鋼基礎共同研究会, 特殊精錬部会の一つである第6分科会では ESRにとどまらず, ひろく特殊精錬すなわち取鍋精錬や特殊溶解に関する情報の収集を担当しております. このような情報活動の成果をひろく関係者の参考にしていただくため, ESR法に関しては, すでに ESR文献集第1集, 第2集としてその成果を刊行して参りましたが, 特殊精錬法に関しても ESRの場合に準じて調査をおこない, その成果をここに特殊精錬法文献集第1集として刊行することにいたしました.

対象とした特殊精錬法は, たんなる脱ガス法, スラグ処理法などを除いた溶鋼の取鍋精錬法(VOD, AOD, ASEA-SKF法など)および特殊溶解法(VIM, VAR, EBM, EBR, PAM, PAR法など)であり, 各プロセスの設備, 操業技術, 応用技術ならびに基礎研究結果などを網羅しております. 本文献集第1集は主として1960年以降の国際会議, シンポジウム, 学協会誌および専門誌に発表された論文ならびに資料について, 図, 表, 写真などにより内容を分類し, 雑誌別, プロセス別に整理編集してあります. なお本文献集に集録しました件数は欧文579件, 和文195件の合計774件であります. 本文献集を広く皆様方に御利用いただくため下記要領で頒布することになりましたので, ここに会員の皆様にお知らせ致します.

記

1. 頒布価格 2,000 円

2. 申込方法 書名, 部数, 送付先を明記のうえ代金を添えて現金書留にてお申込み下さい.

3. 申込先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会技術部 山本由己 Tel. 03-279-6021